



令和2年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和2年10月30日

上場会社名 多木化学株式会社

上場取引所 東

コード番号 4025 URL <https://www.takichem.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 多木 隆元

問合せ先責任者 (役職名) 総務人事部長 (氏名) 大橋 正

TEL 079-437-6002

四半期報告書提出予定日 令和2年11月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和2年12月期第3四半期の連結業績(令和2年1月1日～令和2年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|-------|------|-------|------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2年12月期第3四半期 | 21,573 | 10.0 | 1,083 | 11.9 | 1,324 | 8.3 | 982 | 4.2 |
| 元年12月期第3四半期 | 23,966 | 1.1 | 1,229 | 16.7 | 1,444 | 22.4 | 1,025 | 21.8 |

(注) 包括利益 2年12月期第3四半期 194百万円 (77.4%) 元年12月期第3四半期 861百万円 (12.5%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2年12月期第3四半期 | 113.64 | |
| 元年12月期第3四半期 | 118.70 | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2年12月期第3四半期 | 40,952 | 26,229 | 63.7 |
| 元年12月期 | 42,609 | 26,346 | 61.5 |

(参考) 自己資本 2年12月期第3四半期 26,088百万円 元年12月期 26,205百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 元年12月期 | | | | 40.00 | 40.00 |
| 2年12月期 | | | | | |
| 2年12月期(予想) | | | | 45.00 | 45.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和2年12月期の連結業績予想(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|-----|-------|-----|-----------------|-----|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 32,000 | 2.0 | 1,550 | 2.4 | 1,900 | 0.6 | 1,400 | 2.8 | 162.06 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2年12月期3Q | 9,458,768 株 | 元年12月期 | 9,458,768 株 |
| 期末自己株式数 | 2年12月期3Q | 810,524 株 | 元年12月期 | 820,042 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 2年12月期3Q | 8,644,288 株 | 元年12月期3Q | 8,638,726 株 |

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」もご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 3 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (追加情報) | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的な感染拡大により急激に減速し、緊急事態宣言解除後は経済活動が徐々に再開しているものの依然として感染拡大の懸念があり、先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社グループにおいては新型コロナウイルス感染症の影響を最小化すべく、対策本部を立ち上げ、基本的な感染防止策に加え、就業体制の柔軟化などの様々な対策を講じて、事業活動の継続に取り組みました。また、平成30年1月から推進している「中期経営計画2020」に基づいて基盤事業の収益確保などに努めたものの、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う需要の減退などにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は215億73百万円（前年同期比10.0%減）、営業利益は10億83百万円（前年同期比11.9%減）、経常利益は13億24百万円（前年同期比8.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億82百万円（前年同期比4.2%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(アグリ)

肥料の販売数量は前年同期に見られた消費税増税による駆け込み需要がなかったことや、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う需要の減退などにより減少したことに加え、販売価格が値下がりし、売上高は60億67百万円と前年同期に比べ7.8%の減少となりました。

(化学品)

水処理薬剤は、販売数量が超高塩基度ポリ塩化アルミニウムの好調な出荷により増加したことや、原材料価格の値上がりに伴う販売価格の是正に努めたことにより、売上高は57億3百万円と前年同期に比べ5.7%の増加となりました。

機能性材料は、生産調整が続くスマートフォン向け高純度酸化タンタルと新型コロナウイルス感染症の影響に伴い需要が減退する自動車関連セラミック繊維向け高塩基性塩化アルミニウムの販売数量が減少したことにより、売上高は21億70百万円と前年同期に比べ32.8%の大幅な減少となりました。

その他化学品の売上高は10億16百万円と前年同期に比べ7.8%の減少となりました。

それらの結果、売上高は88億90百万円と前年同期に比べ8.6%の減少となりました。

(建材)

石膏ボードの販売数量が新設住宅着工戸数の減少により低調に推移したことや、販売価格が値下がりしたことにより、売上高は22億34百万円と前年同期に比べ6.6%の減少となりました。

(石油)

燃料油の販売数量が新型コロナウイルス感染症の影響に伴う需要の減退により減少したことに加え、原油価格の大幅な下落により販売価格が値下がりし、売上高は13億41百万円と前年同期に比べ33.8%の大幅な減少となりました。

(不動産)

ショッピングセンターの賃料収入が、新型コロナウイルス感染症予防策として一時的に行ったテナントの臨時休業などの影響を受けて減少したことにより、売上高は11億51百万円と前年同期に比べ5.9%の減少となりました。

(運輸)

荷動きが低調に推移したことにより、売上高は18億89百万円と前年同期に比べ6.2%の減少となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、409億52百万円（前連結会計年度末比16億56百万円減）となりました。流動資産は、現金及び預金が10億89百万円、商品及び製品が4億91百万円それぞれ増加しましたが、受取手形及び売掛金が22億74百万円減少したことなどにより、203億97百万円（前連結会計年度末比7億71百万円減）となりました。固定資産は、繰延税金資産が2億58百万円増加しましたが、投資有価証券が11億83百万円減少したことなどにより、205億55百万円（前連結会計年度末比8億84百万円減）となりました。

負債の部は、賞与引当金が2億12百万円増加しましたが、支払手形及び買掛金が9億54百万円、未払金が2億39百万円それぞれ減少したことなどにより、147億23百万円（前連結会計年度末比15億39百万円減）となりました。

純資産の部は、利益剰余金が6億36百万円増加しましたが、その他有価証券評価差額金が7億92百万円減少したことなどにより、262億29百万円（前連結会計年度末比1億17百万円減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点においては、令和2年2月10日に公表いたしました令和2年12月期の業績予想に変更はございません。今後、新型コロナウイルス感染症拡大の影響などによって修正の必要が生じた場合は、速やかに開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (令和元年12月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (令和2年9月30日) |
|---------------|-------------------------|-----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 4,973 | 6,062 |
| 受取手形及び売掛金 | 8,795 | 6,520 |
| 電子記録債権 | 1,480 | 1,398 |
| 商品及び製品 | 2,960 | 3,451 |
| 仕掛品 | 225 | 226 |
| 原材料及び貯蔵品 | 2,409 | 2,271 |
| その他 | 336 | 476 |
| 貸倒引当金 | △11 | △10 |
| 流動資産合計 | 21,169 | 20,397 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 19,687 | 20,106 |
| 減価償却累計額 | △14,870 | △15,127 |
| 建物及び構築物(純額) | 4,817 | 4,979 |
| 機械装置及び運搬具 | 16,341 | 16,480 |
| 減価償却累計額 | △14,169 | △14,511 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 2,172 | 1,968 |
| 工具、器具及び備品 | 1,442 | 1,453 |
| 減価償却累計額 | △1,269 | △1,304 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 172 | 148 |
| 土地 | 6,431 | 6,425 |
| リース資産 | 18 | 27 |
| 減価償却累計額 | △16 | △19 |
| リース資産(純額) | 2 | 8 |
| 建設仮勘定 | 57 | 78 |
| 有形固定資産合計 | 13,652 | 13,608 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 27 | 22 |
| 水道施設利用権等 | 11 | 11 |
| ソフトウェア仮勘定 | 288 | 406 |
| 無形固定資産合計 | 327 | 440 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 7,110 | 5,927 |
| 繰延税金資産 | 91 | 350 |
| その他 | 295 | 264 |
| 貸倒引当金 | △38 | △36 |
| 投資その他の資産合計 | 7,459 | 6,505 |
| 固定資産合計 | 21,439 | 20,555 |
| 資産合計 | 42,609 | 40,952 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (令和元年12月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (令和2年9月30日) |
|---------------|-------------------------|-----------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 4,943 | 3,989 |
| 短期借入金 | 468 | 373 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 99 | 80 |
| リース債務 | 2 | 2 |
| 未払金 | 1,288 | 1,049 |
| 未払法人税等 | 207 | 228 |
| 未払消費税等 | 201 | 111 |
| 賞与引当金 | 40 | 252 |
| その他 | 608 | 600 |
| 流動負債合計 | 7,860 | 6,687 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 586 | 515 |
| リース債務 | — | 7 |
| 繰延税金負債 | 610 | 433 |
| 退職給付に係る負債 | 3,835 | 3,792 |
| 預り保証金 | 3,175 | 3,097 |
| その他 | 193 | 190 |
| 固定負債合計 | 8,401 | 8,036 |
| 負債合計 | 16,262 | 14,723 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,147 | 2,147 |
| 資本剰余金 | 1,317 | 1,342 |
| 利益剰余金 | 21,147 | 21,784 |
| 自己株式 | △751 | △741 |
| 株主資本合計 | 23,861 | 24,532 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 2,364 | 1,572 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △20 | △16 |
| その他の包括利益累計額合計 | 2,344 | 1,556 |
| 非支配株主持分 | 140 | 140 |
| 純資産合計 | 26,346 | 26,229 |
| 負債純資産合計 | 42,609 | 40,952 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成31年1月1日 至令和元年9月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自令和2年1月1日 至令和2年9月30日) |
|------------------|--|---|
| 売上高 | 23,966 | 21,573 |
| 売上原価 | 18,347 | 16,277 |
| 売上総利益 | 5,619 | 5,296 |
| 販売費及び一般管理費 | 4,389 | 4,212 |
| 営業利益 | 1,229 | 1,083 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 4 | 4 |
| 受取配当金 | 198 | 204 |
| その他 | 73 | 67 |
| 営業外収益合計 | 275 | 276 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 10 | 9 |
| 固定資産除却損 | 35 | 18 |
| その他 | 14 | 7 |
| 営業外費用合計 | 60 | 35 |
| 経常利益 | 1,444 | 1,324 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | — | 14 |
| 特別利益合計 | — | 14 |
| 特別損失 | | |
| 投資有価証券評価損 | — | 25 |
| 和解金 | 21 | — |
| 固定資産除却損 | 18 | — |
| 特別損失合計 | 39 | 25 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,404 | 1,313 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 439 | 436 |
| 法人税等調整額 | △61 | △106 |
| 法人税等合計 | 377 | 329 |
| 四半期純利益 | 1,026 | 983 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 1 | 0 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1,025 | 982 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成31年1月1日 至 令和元年9月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 令和2年1月1日 至 令和2年9月30日) |
|-----------------|--|---|
| 四半期純利益 | 1,026 | 983 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △209 | △792 |
| 退職給付に係る調整額 | 44 | 4 |
| その他の包括利益合計 | △165 | △788 |
| 四半期包括利益 | 861 | 194 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 859 | 193 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 1 | 0 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症は、経済、企業活動に広範な影響を与えており、当社グループの事業活動にも影響を及ぼしております。

このような状況が、当連結会計年度中は継続するものと仮定して、需要を予測した上で固定資産の減損や繰延税金資産の回収可能性等にかかる会計上の見積りを行った結果、新型コロナウイルス感染症による重要な影響はないと判断しております。

なお、現在の状況及び入手可能な情報に基づき、合理的と考えられる見積り及び判断を行っておりますが、新型コロナウイルス感染症の拡大や収束時期等の見積りには不確実性を伴うため、実際の結果はこれらの見積りと異なる場合があります。